

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒708-0698 岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地	
本票作成	部署名：安全管理課				
主たる業種	分類コード	71	業種名：学術・開発研究機関		
事業の概要	原子力に係わる研究開発				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	人形峠環境技術センター		岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 29 年度)	(平成 30)年度排出量		目標年度(令和 4 年度)	
	9,389 t CO ₂	9,492 t CO ₂		9,295 t CO ₂	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(平成 30)年度排出量	
	①	人形峠環境技術センター		9,492 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間：	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 2.0 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 建物延床面積(工学研究施設のため) 延床面積：71,382㎡	原単位当たり排出量			
		基準年度	(30)年度	目標年度	
		0.1304 t CO ₂ /(m ²)	0.1330 t CO ₂ /(m ²)	0.1291 t CO ₂ /(m ²)	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等	

【削減状況の自己評価】

・電気の使用量は、製錬転換施設及び濃縮工学施設の給排気設備の計画停止等の継続を行い、維持管理業務により基準年度に対して全体で0.02%減少した。温室効果ガス排出量は、電気事業者排出係数が基準年度に対して削減したことにより3.2%減少(約260 t-CO₂減少)した。

・重油の使用量は、平成29年8月から濃縮工学施設側の熱水配管を停止していたが、平成30年12月末に再稼働し、濃縮施設側の冬期の暖房に使用したため、基準年度に対して全体で34%増加(約390 t-CO₂増加)した。

【推進体制】

- ・温室効果ガス排出の抑制等の取組みとして「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画（5ヶ年計画）」を策定し、1年目の活動を実施している。
- ・業務品質保証推進委員会分科会において、省エネルギー活動と合わせて四半期毎に活動評価を行っている。
- ・建物延床面積は平成30年4月1日現在で 72,025㎡→71,382㎡に見直しを行った。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
平成30年度実施した取組 ①製錬転換施設 ②濃縮工学施設 ③総合管理棟 今後の取組 ①ボイラ設備(池河地区) ②製錬転換施設 ③濃縮工学施設 ④ウラン濃縮原型プラント	①休祭日における給排気設備の計画停止(継続) ②休祭日における給排気設備の計画停止(継続) 推定節電量：598,379kWh ・撤去保管物の処理作業 ・熱水配管を修理し再稼働(12月末～) ③エアコン更新(LPG仕様から電気仕様に変更：11月～) ①池河地区の熱水暖房用の熱水停止(継続) ②休祭日における給排気設備の計画停止(継続) ③休祭日における給排気設備の計画停止(継続) ④維持管理

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--